慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	W・ビヴアリヂ著 英国価格及び賃銀史 : Beveridge, Sir William: Price and wages in England from
	the twelfth to nineteenth century. Vol. I. Price table: Merchantile era. With the collaboration of L.
	Liepmann, F. J. Nicholas, M. E. Rayner, M. Wrettes-Smith and others. pp. lx,
Sub Title	
Author	三邊,清一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1940
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.34, No.4 (1940. 4) ,p.597(137)- 606(146)
JaLC DOI	10.14991/001.19400401-0137
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19400401-0137

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ることがなかつた。マルサスはウォレスの考察の或るものに負ふ所顯著なるものであると主張せられた。洵に是れ 深き溝坑の存することが認められなければならぬ。 等のものが彼れに示唆を與へたことは疑ひなき所ではあるが、 生ず可きものではないと考へてゐた。彼れは未だマルサスの如く是れを以つて刻薄なる世界の嚴正なる實在と觀 くに排作せられ、毫も其れ以上に收益を增加せしむるの力なきに至る迄は、這般の原因よりして何等の困難 而も兩者の間には産業革命の進展によつて穿たれた

>・ビヴァリヂ著「英國價格及び賃銀史

Beveridge, Sir William:-Price and wages in England from the twelfth to nineteenth Vol. I. Price table: Merchantile era. With the collaboration of L. Liepmann, E. Rayner, M. Wrettes-Smith and others. pp. 1x, 756. London, New York, Tronto, 1939. F. J. Nicholas

三邊清一郎

結辟を述べたい希望を漏して居る。今回出版されたのはその第一卷「商業時代」篇である。 び小麥の價格を通觀し、第四卷ではこの研究の成果を論評し、そして可能ならば國際價格史研究の全事業に對する 得て創立されたものであつて、その計畫に從ひ旣にE・ハミルトンの西班牙價格史研究を初め、 の一である。この委員會は本書の著者W 太利、 の價格を、第二卷は一一五五年から一五五〇年に至る「莊園時代」を取扱ひ、 米國の價格史が公にされて居る。鮭本書は第一卷には一五五〇年より一八三〇年に至る著者の所謂「商業時 International Committee on Price History ・ビヴァリヂの創意により一九三〇年ロックフエラー財團の財政的援助を の計畫に從つて遂次刊行せられる叢書 第三窓には全期間に亙つて勞働及 佛蘭西、 獨逸、墺

惟ふに今日ほど資本主義社會機構に於ける價格の役割を明瞭にさせて居る時代はあるまい。 均衡理論の教ふると

W・ビヴアリヂ著「英國價格及び賃銀史」

1三七 (五九七)

低物價を目標とする公定價格はこの任務を怠たれるものであり、 等の變化發達にして凡そ價格に反映しないものはない。その騰落に隨つて社會の各階級各層は或は榮え或は衰退す に反映する。 なければならない。 窓に價格は有ゆる社會現象の變遷推移を映出する鏡であり、 また物價停止令による釘付價格が、物資の需給適合を妨げる結果を惹起するは蓋し止むを得ないところで 各地方の比較がこの研究によつて可能ならしめられる。そしてそこに價格理論の意義があり、 また本書の重要性が存するのである。 或る意味に於いて經濟の循環は、價格を繞つて行はれると言へる。有ゆる社會現象は悉く價格 理により均衡價格を成立させるものが競争の機構であるとすれば、 貴金屬の供給がそうである。 「消費を拂底する財の供給に一致させる」ことが價格形成の任務であるならば、 産業組織、農業方法、商業及び運輸、消費及び技術 客観的記錄である。富に關し、 闇相場こそこの原則が示す正常價格であると言は 競爭を排除する統制 生活程度に關し、 價格史の意

吾々は旣に幾つかの英國價格史をもつて居る。早いものに**は**

of English gold **ックロニコン・プレ** money; the price day-labour, etc., キオスムし of corn and in England, for six hundred years last past. Fleetwood, William: Chronicon Preciosum, or an account other commodities; and of stipends, 1707.,

2. ed. 1745.

F・M・イーデン「貧民史」 Eden, Frederic Morton: the State conquest to the present period..., Lond. of the poor: or an 1797. history of the labouring

England and Scotland...) necessary articles, 製造業、 (Vol. and also of salaries, wages, IV. Appendix, No. iii. 漁業及び海運編年史」 A chronological table of the prices marriage portions, manufactures, ransoms of captives, etc. fisheries, of corn and and

があり、後れては

T・トウク、「價格史」 Tooke, Thomas the circulation ... Lond., 1838-57 and Newmarch, William: A History of prices, and of

prices in Englandsfrom the year after the Oxford parliament (1259) to ental war (1793). Compiled entirely from original and contemporaneous records. Oxford, 1846-1902. 「英國農業及び價格史」 Rogers, James E. Thorold: the History of agriculture and of the contin-

ある

「極めて重要な先驅的著書」と稱揚するものである(currency and finance, 1884. p. 119. 於いて優れたものであつた。けれども各國の經濟生活が世界的靱帯によつて結ばれ、 學委員會はこの趣旨に基いで設立され、共同の問題を論議し、 右のうちトウクの「價格史」はジェヴォンスが「比類なき好著」であると批評し、 各國とも價格比較の基礎として一七二一一 その價格の研究も國際的な立場からなされることが必要であるは言ふまでもない。 四五年の平均を採用するが如きはその一 用語、製表、方法に就いて共通の形式を決定したとい)。それ等はそれぐ~その時代に 價格構成も世界市場の影響を 例であつて ースのそれは本書の著者が 國際價格史科

晋が新しい價格史として舊著に對してもつ意義。一つはこゝに存する。

居るために「その年平均は一般價格狀態を表示しない。」 勞働平均は一般的意義をもつといふよりも寧ろ地方的意義 みを用ひ、」「幾多の個人の勘定書や商業書類の利用を割愛」 程度との不正確から免れられる。かくて本書では「同一目的のために同一組の文書に記錄された長い系列の價格の 來價格史の研究には使用資料が一貫して居ることが望ましい。蓋し繼ぎはぎの材料による價格系列は、當時の原資 蟾續補足するを目的として出發したが、出來上つたものはロヂャースの訂正版でないことを言つて居る(p. vii)。元 地方をとつてもその價格の系列は連續性を缺くといふのが、その第二の批評である(p. 358)。 かもたないものと解さるべきである。羊毛の價格に至つては不完全なること甚だしく、 於ける同種取引の連續的記錄を收錄して孤立的事實を採らなかつた。著者は本書は最初ロデャースの價格系列を 本書に集成さるゝ價格及び賃銀は同時代の文書すなはちウル 極著述に對してもつ最も著しい特徴であり貢献である。 から取材されたものであるにしても、記載された貨物の品質、尺度及び賣買條件等著者の所謂內的要素の相違が 従つて純粹に需要供給の變化に基く價格の運動を反映しないからである。 資料に不足するところもあつた為めその取扱に遺憾な點も尠くなく、資料が地方的に偏つて ースの方法に従つたものであるが、それよりも時代に於いて古く、資料に於いて豐富である。 のであると評された ("Quarterly journal したといふ(p. xxii)。資料の連續性とそ本書が在來の クンデに記録された數字を基礎として計算された平 I accuracies in I of economics. nics. vol. 23 s Hi.tory v. . 5. 357-58. 一貫する資料を用ふれ その平均は實用的價値な 本書では同一場所 而して何れ ばある

前述の如く本書に收録さるゝものは、 當代の文書に取材された價格及び質銀の平均である。 けれどもその場合僧

數字は價格と

考へらるべきものではなくして、 價格である。これ等價格に對する地金等價の重要性は、價格を貴金屬の供給または通貨政策との關係に於いて考察 の換算なくして達せられる。經濟史研究上最も多くの場合に最も重要なのは、當時の計算の貨幣によつて示される 者は、經濟構造の變化を示す異れる時期に於ける異る貨物または勞務の價値の比較、といふ價格史の主要目的はこ はアングロサクソンの既往に遡らなければならない。 は貨幣の本質を無視し、貨幣の使用による交換と物々交換とを混同するものである」とといふ思想が横はつて居るの るといふ特殊の目的に限られるといふ見解を採つた。そしてこの見解の根底には、地金等價に換算された。これ等 價格の収扱に關して異論のあるべきことは容易に想像され得る。著者もこの批評を豫期してヴィコント・ド・アヴ S P E R (Vicomte G. d' Avenel:Histoire économique de propriété, des salaires, des denrées et de tous les prix général depuis l'am 1200 jusqu' en l'an 1800. 4° éd. Tome 1. 1914. Introduction, p. 財貨は純銀なり純金の幾グレーンと交換して賣買せられるのでなくて、貨幣と引換へに賣買されるのである。 がその「佛蘭西價格史」のなかで「現在の單位に換算されない價格は灯がついてない提灯だ」といつた言葉を マン征服時代以來一磅=二十志、 時代の人達がそう考へた志であつて、 は、金銀鑄貨である場合でさへも、鑄貨に含まれる金銀以上であり以下である。 り、且つ十九世紀後半には通貨の基礎が銀から金に變つて居るのである。だから著者のこ 一志=十二片と確定して居り、 地金等價に換算された價格なり賃銀でない。成程英國では貨幣の單位は 貨幣の平價に從つた價格である。 價格の銀若しくは金等價と見るべきものである。貨幣經濟に在つて しかしとは言へ、 一志が六片であつたり八片であつたりしたの 他の諮園に於けると同じく、 換言すればそこに記されて居る 志 金銀等價を貨幣だと説明するの XVI.) 志に含まる」 けれども著

金等價の變動のうちに表示される。 なき商品の交換を保證せず、質量を吟味しつ、流通の用に供せられるとすれば、 の媒介物として鑄貨に含まれた地金以上であり以下であり得ると言つて居るけれども、 であるといふ(p. xlix)。 との價格騰貴は貨幣の側に於ける事情を含み、 そとで上述の要求が大部分充たされることになつて居る。 の卷に鑄貨に關する若干の説明と、 に換算された數字が、 して居るものとは言はれない。かくて過去に於ける幣制紊亂の際には價格の騰貴を伴ふのが常態であつた。然るに 一定量の小麥、羊毛、 かしとゝではそれに觸れないで、それが取扱ふ貨幣制度の不完全な長い期間に對して、著者とは反對に地金等價 手段としての機能を果すのは、それが支障なき商品の交換を保證するからである。 却つて經濟史研究上最も多くの場合に最も重要であることを指摘して置きたい。本書では後 木炭その他と交換された鑄貨の形態に於ける純銀量目を示す數字の集成が約束され、鬼に角 しかしこの著者の所見に對しては多少異論なきを得ない。 だから價格史の研究に對し貨幣史、造幣史の重要さが考へられるのであるが、 著者の所謂特殊の目的のために比較的重要品種及び十年每の銀等價、 純粹な貨物の需給狀態の變化を反映するものでない。それは寧ろ地 それは完全に流通手段の機能を果 何故なれば、 地金と分離した貨幣が完全 だからかくる貨幣が支障 著者は貨幣は交換 すなはち

る資料の保存せられるもの尠く、 とする順序は、時代的に逆であると言はなければならない。これに就いては著者は、關餘の諸國には十四世紀を遡 の所謂「商業時代」 "Mercantile Era" 今囘公にされた第一卷は英國の商業資本が漸く活潑な活動に入らうとする一五五〇年から一八三〇年に至る著者 、処理由 殊に英國に於ける莊園時代の敎會文書に匹敵するものがなく,且つその存在する から、 を對象とする。だから第二卷に於いて十三世紀に遡り莊園時代を取扱はう これ等諸國のそれと一致させるため國際委員會の慫慂に從つて、 旣に爲さ

和を享受し得た特殊事情に由るものであつて、 た英國莊園時代の研究を一時お庫にしたのだと言つて居る。 この國の經濟史學界のために幸としなければならない。 これは恐らく英國が大陸諸國と異り島國として永く

本篇に利用せられる資料は「商業時代」の

Winchester College (1393-1817).

Eton College (1444-1830).

Westminster (School and Abbey. 1574-1830).

Charterhouse (1644-1830)

Sandwich (St. Bartholomew's Hospital 1712-1828).

Greenwich Hospital (1712-1828).

Chelsar Hospital (1702-1810).

Lord Steward's Department (1556-1830).

Lord Chamberlain's Department (1556-1830).

Royal Workes (1552-1814).

). Navy Victualling (1683-1814).

Naval Stores (1566-1813).

附屬せしめた。この第二次表に採用された基準は、この時代の中期に近い價格變動の少い時期を擇んだものであつ 對する年々め平均價格を與へる主表を作成した。そして各主表毎にその理解に必要な關係施設及び使用資料の解說 の諸施設に於ける財務擔當者の記錄する Accountant Rolls, 並びに各價格系列に對する註釋を加へ、第二次表として一七二一一四五年の平均を一〇〇とする各貨物價格指數を 齊しく國際委員會の採るところであり、 Diet Books 等である。著者はこれ等の資料から若干批評を加へた價格を採集して小麥外一四九種の貨物に こ れ によつて各國に於ける各種貨物の價格の運動が國際的に比較され Account Books, Audit Books, Rentals,

著者はまた本篇に長文の總序を附し、價格史編纂の方法及び資料取扱上の注意等種々教ふるところが多い。

W・ビヴァリヂ著「英國價格及び賃銀史」

一四三(六〇三)

懸けて居るのである。 に於いて述べられるといふ、 も寧ろ例外または將來の變更の豫告と考へねばならない(lx, xxxvi. 同一組の文書に年々歳々同一文句で記載してある取引は、 は價格史が資料とするものは實用文書であるから、 とは野村兼太郎博士もその農村文書の取扱に關して常に注意を與へて居られるところであるが、吾々は更に最終卷 條件を同じらするものと考へている。 (價格英貨31s. 6d.) 前記諸資料から生れる様々な結果に就いてのこの價格史の權威の論評に多くの期待を しかし或る年に特に註記が施してあるならば、それは指標としてより それには殆んど常用の尺度や取引條件が書いてない。けれども 特に變更が明記してない限り惰性により、一般に品質。 と言つて居るが如きその一例である。同様のこ

國際價格史科學委員會からは今日まで英國以外の國に於いて次の諸書が公にせられて居る。

Pribram, Alfred Francis: Materialien zur Geschichte der Preis und Löhne in Österreich. Unter Mitarb Rudolf Geyer u. Koran brsg. Bd. I. Wien, 1938.

姚蘭西

Henri: Recherches et documents sur l'histoire des prix en France de 1500 à 1800. Pariss, 1936

獨強

Elsas. zum Beginn des neunzehnten Jahrhunderts. Bd. M. J.: Umriss einer Geschichte des Preise und Löhne in H Leiden, 1936 (E 37-167.) Deutschland vom ausgehenden Mittelalter

米圆

Ŗ. Study 26. Colonial Pennsylvania. 1935. (Wharton School of Finance and

(Ibid Studies 29.) Pt 2. 2. Ä Gray and M. Hussey: Wholesale prices in Philadelphia, Series of relative monthly prices. Phil. 1937. (Ibid Studies 30.) 1784-1861. Phil. 1936.

prices at New York City, 1720 to 1800, by H. M. Stoker. F., F. A. Pearson and H. M. Stoker: Wholesale prices for 213 years, Agricultural 1797 to 1932, Experiment by G. F. Station, Warren Memoir 142.). 1720-1932: N. Y., Wholesale prices in H.

Cole, Arthur Harrison: Wholesale commodity prices in the United States, 1700-1861. Vol. 1-2. Cambridge.

西班牙

Hamilton, Earl J.: American Treasure and the Price Revolution in Spain, (Harvard Economic Studies 43.) 1501-1650.

Hamilton, Mass., 1936: (Ibid Studies 51.) Earl. J.: Money, Prices and Wages Ħ. Valenciai Aragon and Navarre, 1351-1500. Camb.,

波蘭

Annals of Social and Economic History, ed. ğ Fr. Bujak Ø Supplementary memoranda の形で公

にさ

九三九年中は二巻出版される豫定だと傳へら は刊行を見て居ないやうである。

前 ●少數民族問題 號 (第三十四卷) 少數民族としてのド ッパにおける 加田 哲二 昭和十五年四月 一日發 行昭和十五年三月廿五日印刷納本 原稿締切期日は發行の前月十日限営業に關する用件は發賣元宛 ケケ詽 年年定 分分價 金金金 五貮五

四九拾

錢錢錢

郅

金壹錢五

厘

拾拾

件は發行所宛

岩 田

仭

●青果市場の一研究

商業調査報告の一齣

C Ŧ 種 義人

●貯蓄投資の均等説につい

ケインズ一般的論を中心として

●技術の進步と勞働者心理學の

西原雄次郎著『藤山雷太傳』

郎

藤林

敬三

誌雜會學田三

毎月

一日發行

凉市芝區三田二丁

元月 丸善株式會社三田出張所 提替口座東京

賣

段 行所 東京芝三田 東京芝三田 理

學的會

口报

座替

慶

義

東京一八二〇四番芝 區 三 田 二ノニ